

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和5年1月13日(金)	確認目的	工事の進捗、施工品質の管理
確認箇所	5・6号機敷地護岸ヤード		
確認設備	<input type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input type="checkbox"/> 移送設備	<input checked="" type="checkbox"/> 希釈設備 <input type="checkbox"/> その他

海水により希釈されたALPS処理水が貯められる放水立坑の設置状況を確認した。なお、放水立坑には、海水により希釈されたALPS処理水のトリチウム濃度を測定するためのサンプリングポイントが設けられる。

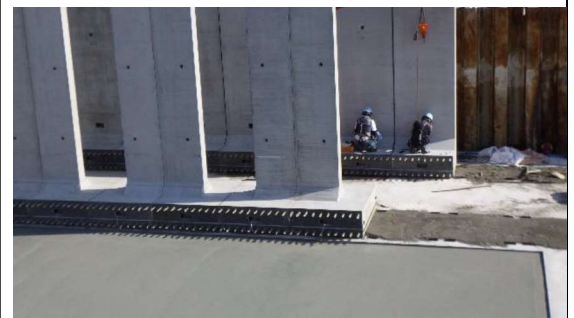
- ・放水立坑（上流水槽）の設置予定地では、掘削作業が終了し、均しコンクリートの上部でプレキャストブロックを組み立てる作業が実施されていた。（写真1）
- ・プレキャストブロックの組立作業では、防護フェンス海側に設置した大型クレーンでプレキャストブロックを吊り上げ、上流水槽の中に下ろしながら、作業員が少しずつ据え付け位置に移動させていた。（写真2）



確認結果

（写真1-1）放水立坑（上流水槽）の構築工事の状況①

（写真1-2）放水立坑（上流水槽）の構築工事の状況②



（写真1-3）放水立坑（上流水槽）の構築工事の状況③

（写真2）プレキャストブロックの据付作業の状況

【東京電力からの聴取内容】

上流水槽の東側と南側は鋼矢板を使っている。西側は重機が通る道路があるため強度がある鋼管（海側遮水壁と同様）を使っている。北側は下流水槽の壁と共用しており、壁の高さ（下流水槽は上流水槽に比べて深い）を考慮して、SMWを使っている。

SMW(Soil Mixing Wall)：土 (Soil) とセメント系懸濁液を施工位置で混合 (Mixing) し造成する地中壁 (Wall)